

令和元年度宮代町防犯のまちづくり推進協議会会議記録

◇日 時 令和元年 9 月 12 日（木）13：30～15：30

◇場 所 宮代町役場 202 会議室

◇出席者（敬称略）

委 員 上田悟、北原恵、中町忠男（代理）、山口隆夫、但木和久、後藤友紀、藤倉満代、菅原弘美、小林幹弥、渡邊広子、鈴木良裕（代理）、星喜助、大島稔、佐野好一、秋元正、高橋司

以上 16 名

（欠席者：伊東文子、中川定雄、中村一成、島村勉）

事務局 齋藤和浩、小川英一郎、田代宇隆、金子尚子、小島春樹

町長 新井康之

◇傍聴者 0 名

◇会議概要

1. 防犯のまちづくり推進協議会について

⇒資料 1 に基づき、事務局より説明を行いました。

【質疑応答】

大島委員：要綱第 2 条(4)防犯のまちづくりに関する総合的な計画の作成に関することについて、本協議会はどのような役割をするのか説明をお願いします。

事務局：総合的な計画は既に作成済みです。今後は計画の内容の変更が発生する際には委員の皆様からご意見を伺い計画に盛り込んでいきたいと考えております。

大島委員：今後総合的な計画について、不備等があれば本協議会において、審議することが可能という認識でよろしいですか。

事務局：そのとおりでございます。

大島委員：会長からの要望があれば会議を開くということではよろしいですか。

事務局：そのとおりでございます。皆様からのご要望、また町や警察から情報共有しなければならぬ事項が生じたら複数回会議を開くことで会長と調整をさせていただきます。

2. 最近の犯罪状況について

⇒杉戸警察署生活安全課、中町氏より説明がありました。

〈犯罪情勢〉

- ・自転車盗、オートバイ盗など乗り物に関する盗難が増加している。
- ・集会場や消防団小屋、防災倉庫を狙った盗難が発生している。
- ・5月から宮代町近辺で路上痴漢が発生していたが被疑者を逮捕した。

〈振り込め詐欺状況〉

- ・埼玉県内で発生件数、被害額について共に増加している。
- ・杉戸警察署管内では発生件数は横ばいのものの被害額は大きく増加している。
- ・架空請求詐欺のハガキが杉戸警察署管内に多く届いている。多いときは1日に20件以上警察に相談が来ている。
- ・還付金詐欺が増加している。

【質疑応答】

北原委員：詐欺のハガキが送られてきているが、犯行グループはどのようにして住所等を入手しているのですか。

中町委員：恐らく個人情報保護について緩い時代に作成された名簿が出回っていると思われます。主に50代以上の女性をターゲットにしてハガキを送っているようです。

大島委員：自転車盗についてどの場所で多く発生していますか。

中町委員：集合住宅の駐輪場で多く発生しています。特に無施錠のまま停めているものが被害に遭っています。

3. 町内自主防犯組織について

⇒資料に基づき、事務局より説明を行いました。

【質疑応答】

- ・質問無し

4. 町実施事業について

⇒資料に基づき、事務局より説明を行いました。

【質疑応答】

- ・質問無し

5. 防犯灯設置検討部会について

⇒資料に基づき、事務局より説明を行いました。

【質疑応答】

大島委員： 防犯灯を蛍光灯型から LED 型にしても作物の生育への影響はありますか。

事務局： LED 型に変更しても影響はあります。そのため新しく防犯灯の新設要望を出すときは、周辺の住民の承認を得てから要望を出すようお願いしています。

6. 意見交換

委員 (所属)	発言内容
鈴木委員 (日本工業大学)	授業が行われている期間は常時 2500～3000 名の学生が学内にいる。学生に対してはオリエンテーションを通じて防犯指導をしている。以前は女子学生が帰宅時に付きまといわれる事案が頻発した時期があったが現在は落ち着いている。
大島委員 (杉戸管内地域安全 推進連絡協議会)	須賀小学校周辺では見回りパトロールを行っているが、他の小学校ではどうなっているのかお伺いしたい。 →百間小学校では、見守りパトロールの高齢化が進んでいる。これからは区長と協力してパトロール隊を増やして組織を強固にしていきたい。(山口委員) →東小学校ではスクールガードが登下校を見守っている。宮代町に小学校が 4 校あるが、それぞれのスクールガードが連携できていないので、連携が必要なのでは。(北原委員)
星委員 (宮代町商工会)	宮代町は近隣の市町と比較して、人口あたりの犯罪発生率が多いのではないかと。スマートフォンでネットを見ていたところ「修復してください」と画面に表示されたことがあった。量販店に持っていくと詐欺だと分かったので注意してほしい。
佐野委員 (姫宮地区連絡会)	見守り役だと分かるように、しっかり腕章や帽子を被ってパトロールする必要がある。
秋元委員 (駅西口地区連絡会)	小学生は帰宅中には防犯ブザーを持っているが、家に帰った後に遊びに出ているときには持っていない。学校は遊ぶときも防犯ブザーを持つように指導して欲しい。 古新聞の持ち去り被害が発生していたが業者に何時くらいに回収するか聞いて持ち去れないようにした。
高橋委員 (須賀地区連絡会)	揃いのベストを着用し、拍子木を持ってパトロールを実施している。
渡邊委員 (宮代特別支援学校)	危機管理マニュアルを作成し、年に 2 回防犯研修を実施している。
小林委員 (宮代高等学校)	パソコンを使用した犯罪について個々に指導するのが難しい。防犯についての意識を高める必要がある。

菅原委員 (宮代須賀幼稚園)	バス通園を行っており保護者はバス停まで迎えに来ている。保護者と一緒に行動できているので大丈夫かと思う。園児には親と一緒に行動するよう言っている。
藤倉委員 (前原中学校 P T A)	名札をつけて登下校をしているのは不安。置き傘からフルネームを知られたことで誘拐された事件もあるので、犯罪者に名前が見えない工夫が必要と感じる。川沿いのフェンス近くに草が生い茂っており、不審者が隠れていたら気づかないと思うので、対策が必要だと感じる。
但木委員 (前原中学校)	暴力行為よりも不登校、情緒不安定、ネットトラブルが増加している。生徒数が減ってしまい、集団下校ができなくなっている。
山口委員 (百間小学校)	中学校とも連携をとって対応している。地域の見守りについて今後も継続していけるよう考える。
中町委員 (杉戸警察署)	防犯ブザーの使い方について登下校以外にも使えるような訓練を検討する。
北原委員 (副会長)	買い物や散歩のときに併せてパトロールをしている。
上田委員 (会長)	防犯の基本は声を掛けること。大人がしっかりと声かけを行うことが大切。